



家族総出の田植かな



益城町

議会だより

清水

せい すい

平成24年(2012)6月定例議会 No.48

秋の実りを祈って・・・ 飯野小学校の田植



学校自慢 飯野小学校

P14

臨時・6月議会の賛否表

P13

● 研修記

組合議会からの報告

P12

常任委員会レポート

P10~P11

一般質問7名が登壇

P3~P9

● 広安町民グラウンド購入で臨時議会開く

広安西小調整池工事に
1億1千万円を補正

P2

6月 定例議会

広安西小学校増築工事

グラウンドを調整池に

平成24年第2回定例議会は、6月12日から会期7日間で開かれ、広安西小学校増築工事に伴う調整池工事費の補正予算や条例の一部改正など、7議案と請願1件について審議。議案についてはいずれも原案通り可決認定することとした。また、請願については賛成少数で不採択となった。

広安西小学校教室不足解消に向け

現在、広安西小学校では、児童増による教室不足に伴い、4年生はプレハブの教室で授業を受けている。この教室不足を解消するため、本年度に第一期工事として6教室の増築を予定しているが、県からこれまでの調整池では、処理能力不足などの指摘を受け、グラウンドを調整池として併用するため、グラウンドの周りに擁壁工事を行うこととなった。

条例の制定及び条例の一部改正

住民基本台帳の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

平成24年7月9日をもって外国人登録法が廃止され、外国人も住民基本台帳に記録されるとともに、住民票が作成されることとなり、益城町の印鑑の登録及び証明に関する条例、手数料条例、敬老祝い金給付条例の該当箇所を一括して一部改正するものである。

請願

益城町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

益城町のリサイクル率向上のため、本年10月よりプラスチック製容器、包装などの廃プラスチックの分別収集の開始を予定しており、今回新たに廃プラスチック専用のごみ袋を販売するための改正である。

販売価格はリサイクル率の向上を図るため、通常のごみ袋より安く設定、大が17円・小が12円とした。

公有財産取得等で 臨時議会開く

平成24年5月21日臨時議会を開き、一般会計補正予算や国民健康保険特別会計補正予算等の専決処分報告、及び公有財産の取得などについて審議を行い、原案通り承認及び可決認定することに決定した。

山本山跡地取得で討論

反対討論

荒牧昭博

広安町民グラウンド用地については、執行部は当初、利便性、経済性、敏速性、周辺環境などを考慮すると、地域再生道路沿いが最適地と言っていたと思うが、何故か、山本山跡地となったのか、納得できないことから反対するものである。

賛成討論

坂口政弘

地域住民から広安町民グラウンドについては、他の校区グラウン



野球場奥をGゴルフ場として整備中

小中学校通学路の安全性の確認点検を再検証せよ

学校安全マップ及び通学路の緊急安全点検を指示し、報告を求めた

総合型地域スポーツクラブの今後の活動をどう進めるかに

会員証提示による付加価値を付けた取り組みも考えていきたい

通学路の安全性

稲田 去る4月23日京都府亀岡市で、通学中の小学生ら10人の列に無免許の少年の車が突っ込み、3人死亡、1人重体、負傷者6人という大惨事が起きたことは記憶に新しいが、それを受けての町の対策はどのようにしたか伺う。

教育長 事故発生直後に、直ちに各学校に通学路の再点検、交通指導の工夫、また、児童・生徒への登下校時のマナーの指導などを指示した。

稲田 益城町では児童・生徒の通学路に対しては、以前から幾つかの取り組みが行われていることは承知している。町、学校ともに児童・生徒の登下校中事故に遭わないように万全の対策はとつてあるが、今一度、通学路の安全性についての確認と点検を再検討する必要があると思うが、教育長の考えは如何か。

教育長 熊本県警察本部交通部長から、各警察署長あてに示された7点の具体的着眼点を参考に緊急安全点検の実施を各学校に指示し、その報告

を求めた。その結果、交通安全上で危険があると思われる箇所が48件上がった。今、本町総務課を通じ、警察等の関係機関と改善に向けて協議している。

稲田 今回、通学路の現場を回って、次の2カ所は特別危険な箇所だと思っ。

1カ所目は古閑地区の高速道路東線と町道府内・安永線の交わる交差点付近、2カ所目は惣領橋付近だと思っ。惣領橋については以前の答弁で「管理者が県であるので強く要望していく」とのことであつたが、その後の状況はどうか。

教育長 以前、広安西小学校の通学路となる高速道路沿いで事故があつた。北側から下りになっているのでスピードが出る所である。注意を促すため何か努力をして行かなければならないと思っ。

惣領橋については今、県に警察を通じてお願いしている。



高速道路東線（古閑地区）

総合型地域スポーツクラブ設立の経緯は

稲田 総合型地域スポーツクラブの設立について、平成12年9月議会から3回質問してきた。以来10年以上経過した中、本年4月に設立に至つた経緯を伺う。

教育長 平成14年度から設立に向けた準備を始め、平成22年8月26日に益城町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を発足し、平成24年3月に総会を開き、4月1日に「益城わくわくスポーツクラ

ブ」を発足した。

稲田 事業内容について伺う。

教育長 5月31日現在八つのクラブがあり、会員数100名である。練習は基本的に週1回の2時間程度である。

稲田 今後の活動についてどう考えているか。

教育長 新規クラブの加入、会員増を図るために、広報紙への掲載、チラシ配布、ホームページの開設、大会の開催、町内の商店等とタイアップし、例えば、会員証を提示すると特典があるというような、付加価値を付けた取り組みも考えていきたい。



ミセスフレッシュ（健康教室）



稲田 忠則議員



宮崎 金次議員

医療費の抑制策

宮崎 今回、医療費の増加に伴い、やむなく国民健康保険税を上げる事となったが、これから定年を迎え、国民健康保険に加入される高齢者が増加し、今後ますます医療費の増大が予想される。町としての医療費の具体的な抑制策について伺う。

国民健康保険税を上げないための医療費抑制策は

医療費抑制のため、短、中、長期的な施策により職員一丸となって取り組む

災害等で停電した場合、庁舎・水道・下水道は大丈夫か

各施設とも、予備発電機があり、当面2日間は問題ない

などを把握し具体的な方策を策定する。特に生活習慣病予防のための健康教室や運動教室などの健康づくり事業や、ウォーキング・サイクリング・ハイキングロード等、施設設備も検討する。

長期的には、町民の方が活躍、高齢者の方が生きがいを持つて暮らしができるような事業を展開していく。

災害等に対する危機管理

宮崎 これから梅雨の時期をむかえ、大雨・台風等により、町が長時間の停電（3日間）になった場合、本庁舎の機能維持、更に住民生活で欠かせない水道・下水道の確保はできているのか。また今熊本県でも力を入れている町内会等の自主防災組織の、現状及び今後の整備方向について伺う。

町長 災害の発生により庁舎が停電した場合の対策として、停電時には瞬時に非常用電源、蓄電池設備が作動し、非常用の照明を点灯、同時に無停電電源装置も作動、その後非常用発電装置100kwが作動し、約50時間位の電気は確保される。

水道施設には、非常用発電機が11台、可搬式発電機5台を保有し、停電時に対応する。特に配水管の連絡網により、上水道と福田地区簡易水



停電時活躍するエンジン式水中ポンプ

町長 総務課に、防災に詳しい専門家を非常勤で配備したらという提言については、しっかりと受けとめる。

宮崎 総務課に危機管理官又は、防災官的なポストを作り防災体制の整備を提言する。

次に町での自主防災組織の現状は、益城町婦人会が全町的に活動している。他にはない。

下水道は、浄化センターと福田処理場は自家発電機により4時間の処理可能である。各処理場へ送水するマンホール、ポンプ場は可搬式発電機により巡回監視運転を行う事としている。



高橋津代美議員

区画整理事業の進捗状況はどうか

西地区：商業施設の具体的協議 中地区：地権者同意待ち 東地区：一括業務代行方式（スピード感をもって対応しなければならない）

高齢者の健康促進についての対策はどうか

ふれあい交流会 生きがい講座 健康講和・相談 保険指導訪問を実施して受診者の健康管理に努めている

グランメッセを中心とした区画整理事業の進捗状況

高橋 65ヘクタールのグランメッセを中心とした区画整理事業の進捗状況を伺いたい。

町長 現在の状況は、西地区においては、正式に商業施設の進出意向書が提出され、具体的な協議に入っている。

中地区においては、進出する企業は決まっているが、少数の地権者の同意を頂ければ早いスピードで進むと考えている。

東地区においては、一括業務代行方式による協議が進められている。早急に着手したいと鋭意努力をしているが最終的には地権者全員の同意が必要であるので、このことについては新たな行動を起こしていきたい。改めて議員の皆様のご協力をお願いしたい。

高橋 なかなか進まない状況は景気の悪さや、先行きの不安で地権者が足踏みされているようだ。是非とも一つがモデルとなり、両開きに発展していくよう行政のリーダーシップをお願いしたい。消費税との兼ね合いもあるのではない

か。

町長 先祖代々からの土地の管理体制が変わるといふことについて地権者が色々とお考えになるのは当然である。しかしながら、ある程度のところでは妥協していただかなければ前へ進まないと言っている現実である。また東地区の場合、設立された組合とコンサル企業で独自に提携されているため、町が特別に口を挟める状況にはない。

しかしながら行政として動かなければならない点についてはしっかりと動いている。消費税の問題なども考えながら区画整理事業をしっかりとスピード感をもって対応していかなければならない。

高齢者が健康で安心な生活を営む健康促進対策は

高橋 高齢者の人口が増加するなか生き生き長寿をめざしての町の対策はどうか。また楽しみを見つけてながら無理のない、多少なりの利益を生むような企画などを考えたらどうか。

町長 本町の高齢化率は現在約23%で平成32年度には31%になると予想される。高齢者が健康で安心な高齢期を営むことが出来る町を構築していかなければならない。現在、町で実施している事業は、ふれあい交流会、公民館の生きがい講座、高齢受給者交付時に保健師・栄養士・歯科衛生士による健康講話と健康相談を実施し、健康づくりの意識の高揚に努めている。また生活習慣病の予防を重視した特定健診及びがん検診、その結果に基づいた保健指導訪問を実施して受診者の健康管理に努めている。

また介護保険法に基づく地域支援事業は、各地区に設置されている地域サロンにおいて、健康体操や健康談話・講



高齢者が健康で パソコン教室

話それから認知症予防講話などを実施している。今後さらなる充実を図るとともに来年度オープン予定の保健福祉センターの一部を介護予防も含めたトレーニングルームとして有効活用していきたい。農楽園などの企画提案については、趣味・遊び・楽しみ・仲間との交流、まさに生きがいと健康づくりが一緒に行える素晴らしい企画であると考えている。皆様方の意見や情報をいただきながら進めていきたい。



江越 信保議員

ポリオワクチンに安全性の高い不活化ワクチンの接種

江越 急性灰白髄炎（小児麻痺）の予防としてポリオワクチンが定期予防接種されている。しかしながら現在は生ワクチンを使用していることからまれに病原菌に侵される症例がある。

この危険性が無い不活化ワクチンがこの度承認され、9月から定期予防接種で使用できるようにになった。当町の準備状況はどのようなになっているのか。

町長 不活化ワクチンの導入時期については、国より24年9月と予定されている。国から県担当者、県から当町の担当者への説明会が開催されるとして、当町としては、10月から導入したい。

ポリオワクチンを含めて四種混合として接種

江越 現在実施されているジフテリア、百日咳、破傷風に、今回この不活化ポリオワクチンをあわせ、四種混合ワ

通学道の安心・安全対策

江越 県道益城く菊陽線のうち秋津川に架かる惣領橋は、馬水、惣領、安永地域の生徒が益城中学校へ通学する橋である。県道を横断するには、信号がある左岸へ渡らなければならぬ。

しかしながら、歩道としての白線は70センチほどと狭く、自転車は押しながら、車と欄干のわずかな隙間を、身を細めるような通学の状態である。

傘をさしての渡橋はなお更であり、生徒の安心・安全を確保するためには早急に行政としての対策が必要である

が、当町としての取り組みはどのようなになっているのか。

町長 地元区長会等から横断歩道及び信号機の設置などの要望がでている。

安全確保の点からは、橋の東側に歩道橋を設置するのが最善と考えられるが、管理者である県に対し要望を繰り返してきた。

今回6月の県議会で、歩行者専用の橋を設置するような予算が計上されると聞いていた。

今後、県による調査や設計等がなされ、更に工事着工を期待している。



車の隙間を縫って渡る生徒等（惣領橋）

ポリオワクチンの不活化ワクチンが承認、当町の対応は

10月から導入したいと考える

通学道の安全上、惣領橋の対策について行政の対応は

6月県議会に惣領橋の安全対策費として計上されている



寺本 英孝議員

益城町総合グラウンドの夜間照明の影響について

住民と話し合っ、善後策を考えたい

益城中央小学校の通学路の現状と今後の安全対策

安全点検を実施し、県道の危険箇所の整備を要望したい

益城中央小学校の通学路を変更したら如何か

学校・保護者・教育委員会と一緒に考えていきたい

益城町総合グラウンドの夜間照明の影響は

寺本 益城町総合グラウンドの夜間照明を点灯する事によって、地域住民への影響が発生しているがその対応は。

教育長 住民の方の影響があれば、今後話し合いをしていき、何か善後策を対応できればと思っっている。

通学路の現状と安全対策

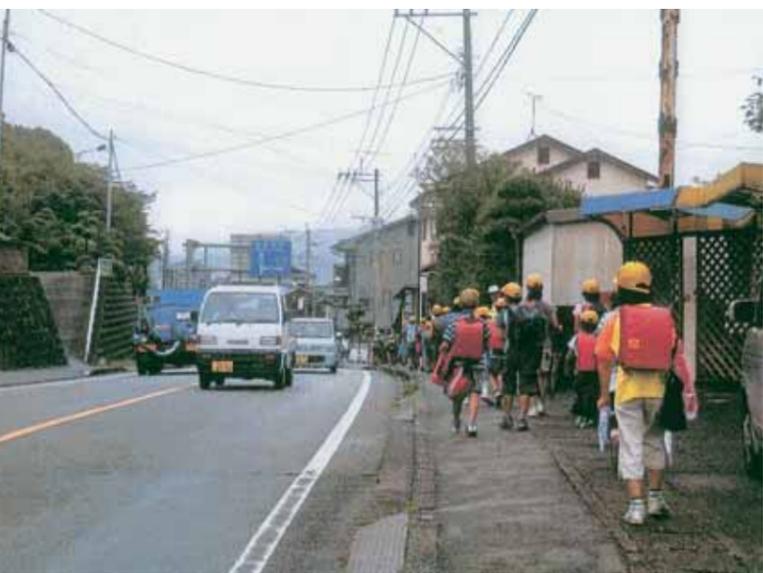
寺本 益城中央小学校の木山校区の生徒は、熊本高森線が通学路と指定されているが、常に危険と隣り合わせの通学路となっている。この事をどう認識しているか。今後の安全対策の取り組みはどうか。

教育長 益城中央小学校において、再度の安全点検をおこなって、危険箇所を学校職員全体で再確認している。この通学路は危険箇所の一つとして認識し、県道の整備についても、学校からの要望として、県に対して全部伝えていきたい。

通学路の変更の検討を

寺本 今の熊本高森線が通学路として指定されたのは、以前に給食センター裏の道路は、不審者等が出て子どもたちが危険であったため、通学路となった。

しかし、いまは、見まわり隊等の方々の協力があり安全に登下校している。給食セン



熊本高森線を登校する子どもたち

ター裏の道路は車の通行量が少なく、ドライバー等の過失による事故などが起きる可能性が低い。

通学路は子どもたちの安心安全が最優先されるべきであり、給食センター裏の道路に変更されるは如何か。

又、今後の研究課題として登校時は給食センター裏の道路を、下校時は熊本高森線とする案も一つの方法ではない

のか。

今後この課題について実現可能かどうか、色々な角度から保護者と共に研究検討されるよう要望したい。

教育長 元の通学路に戻したらどうかという事については、学校、保護者、教育委員会も一緒になって対応していきたい。登校時と下校時の通学路を変更した事例については、私は把握しておらず、変更が可能かどうか検討したい。

通学路における事故になれば、補償問題等もあるので慎重に研究、検討しなければならぬ。



坂田みはる議員

学校給食費問題

坂田 去る3月9日の議会で、同僚議員の学校給食費無料化の質問に対し、町長は「研究を重ねていきたい」と、教育長は「今後研究していきたい」と答弁された。しかし、平成24年4月9日付け、教育長名で、平成25年度以降は給食費の値上げを実施することになったと保護者宛に文書が届いている。この1カ月足らずにどのような研究、検討がなされたか、また3月議会の答弁はどういう意味を成していたのか伺う。

教育長 3月16日、学校給食運営委員会が開催された。委員会で問題となったのが現在平均189回の給食回数だが、学習指導要領の改定に伴い授業時間が増え、更に今年度から夏休みが2日短縮され授業日数が増えることで、給食回数が増える。始業式、終業式、運動会予備日を弁当持参で対応することを決定し、運動会予備日が早速関係するので4月9日付けの文書になった。学校給食運営委員会が給食費の決定等すべてやっている。

坂田 給食費値上げについて、保護者への説明会を開く考えがあるのか伺う。

教育長 学校給食運営委員会は、各学校の学校長、PTA



栄養バランスのとれたおいしい給食

私はその会長だが、そこで会長としてやることと、議会で私が教育長として答弁することは、必ずしも一致しない場合がある。運営委員会の中で、値上げ案が出てきたのであって、私が3月議会の時、値上げを意識していたわけではない。24年度足りない分は弁当持参にし、25年度からは、「家で弁当は作りたくないから、値上げしてもいいから給食費を上げてください。」という意見が多く出た結果あの文書にした。

成人式アルバム制作のあり方について

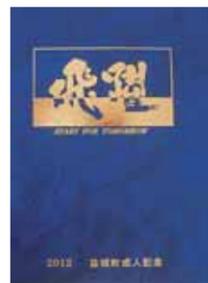
坂田 今年1月8日の成人式典のアルバムの集合写真1枚目を見て目を疑い、大変残念な思いになった。後ろの人が前の人の顔に手をやりゆがめたままの姿で写っていた。写真はどのような点を誰がチェックしているのか。また、今回のアルバムはさほど問題無と考えるか。

教育長 集合写真はアルバム製作業者で、スナップ写真は生涯学習課の職員で行っている。

一生残る大事な写真を撮るとき、悪ふざけをする本人に問題があるような気がする。

坂田 今後の制作課題はどういったことと考えるか。

教育長 誰が見てもよいアルバムになるよう心がけて、チェック機能を強化し、写す時に、悪ふざけでの姿勢では写されない、という指導が大事であると思うので業者にもお願いする。



成人者に贈られる記念アルバム

政治姿勢

坂田 広安校区グラウンド用地問題から、山本山グラウンド跡地購入決定となったが、本会議答弁が生かされず全く違う方向に進むのは議会軽視ではないか。

町長 目的達成には、どの方法が一番ベターかを考えると、時には前に発言した事と現実と異なってくることもあり得る。議会を軽視していることは全くないと理解いたさない。



甲斐 康之議員

住宅リフォームと、耐震化診断費用助成の導入を

助成制度の設置目的は理解できるが、財政面ですぐには取り組めない

学校給食費の値上げを止め、公約通り無料化を実施せよ

運営委員会で議論されるべきものであり、私が決めるわけにはいけない

健診率の向上のため、特定健診料を無料に

「無料にします」とは、町の財政を考えるとなかなか言えない

住宅リフォームと耐震化診断費用の助成を

甲斐 定住化促進と産業振興のために、住宅リフォーム助成制度を導入してはどうか。町の耐震化促進計画では、平成27年度までに住宅の耐震化率63%を90%にする計画である。

町長 耐震化率を向上させるために、耐震化診断費用の補助を行い、改修工事においてはリフォーム助成を行って、町民の安心安全な住環境を確保することは自治体の責務ではないか。

町長 中小企業を守り、安心安全について、町が理解を示し積極的に取り組んでいく事については、しっかりと認識している。

現在、太陽熱温水器や太陽光発電システムなどの補助



耐震化リフォーム工事

町長 当然、財政をしっかりと考慮しながら、優先的にやることには理解できる。現段階では精一杯の事はやっている。しかるべき時に備えて実施している市町村の調査を進めていきたい。

甲斐 町が助成を行うことで、地元経済が活性化すれば、町民サービスも拡充出来るのではないか。実施している自治体に学び前向きに検討されてはどうか。

学校給食費の値上げを止め公約通り無料化に

甲斐 3月の議会で、教育長は給食費の無料化を実施している自治体もあり、財源確保について検討していきたいと答弁しているにもかかわらず、4月に入り給食費値上げの通知を出されている。無料化への努力が足りないのではないか。

教育長 保護者の負担軽減は必要との認識は持っている。しかし、独立採算の中に補助金としてお金を打ち込む事は出来ない。

町長 運営委員会では食材費が足りなければ値上げをしてもまかなって欲しいとの意見があり通知を出した。

甲斐 兵庫県相生市では、幼・小・中学校の給食費と中3までの医療費を無料化にして、子育て支援を充実させている。

町長 公約どおり給食費の無料化を実施して、名実ともに子育て日本一を実現すべきではないか。益城町の子育て支援に期待を寄せている世代が「益城町に住んで良かった」と言

い、子どもたちが育って、益城町を自慢できるふるさとになればこんなに素晴らしい事はないのでは。

町長 現在、余分な公共工事はしていないつもりである。町が補助金を出して喜んでいただくことは同感であるが、今のところは非常に難しい。給食費については運営委員会で議論されるものであり、私が決めるわけにはいかない。

特定健診料を無料化に

甲斐 国保事業計画では、医療費の削減として、健康づくりと生活習慣病の早期発見と予防がねらいとなっている。特定健診の受診率が低く、これを高めることが重要である。

町長 「補助金は出します」「無料にします」など、ここまで口に出かかっているが、なかなか言えない。責任者として、町の財政を子育て・福祉・教育などいろいろやって行かなければならない。

6月議会 常任委員会レポート



旧益城中央小学校跡地



概要図による説明を受ける（広安西小学校）

高速道東線道路改良工事では 安全確保を図れ

建設 経済



町道高速道東線道路改良予定箇所



町道テクノ工業団地線道路改良工事

建設経済常任委員会では、付託された3議案について審査を行い、原案の通り全会一致で可決・認定した。
なお、平成24年度一般会計補正予算では、人・農地プラン作成検討委員会委員の人数について質問があり、なるべく農業従事者を中心に選任するよう要望があった。

現場視察は、町道高速道東線道路改良予定箇所（福富交差点）、町道の路線認定箇所（馬水、西原地区計画住宅地内）、及び町道テクノ工業団地線道路改良工事箇所の3箇所を行った。
福富交差点の改良予定箇所及び町道路線認定箇所では、担当者から計画の概要に

ついて説明を受け、現状の確認を行った。
テクノ工業団地線道路改良工事箇所では、工事進捗状況の確認を行い、平成25年度末の完成を目指し順調に進められているとの報告を受けた。

6月議会 常任委員会レポート

総務

県下初！ グラウンドを利用した調整池（広安西小）

総務常任委員会では、付託された議案について審査を行い、原案のとおり全会一致で可決した。
また消費税率引き上げに反対する意見書を求める請願については、現在国会で議論されている最中であり、経緯を見守るべきではないかとの意見が出され、賛成少数で不採択となった。
平成24年度益城町一般会計補正予算については、広安西小学校調整池等整備工事の施工内容、及び教育費県補助金の研究指定校についての質問があった。
調整池等の整備工事については、執行部より、グラウンドの周辺に盛土を行いグラウンドに調整機能を持たせる方法が最良であると

の説明があった。
現地視察については、広安西小学校調整池等整備工事予定地については、校長室において図面による説明を受けた後、工事の内容について現場を確認した。
旧益城中央小学校跡地については、現在整備中であり、校舎跡地を駐車場（240台）として、校庭跡地を運動公園として利用する旨の説明を受け、現地を確認した。

プラスチック製容器包装の分別収集開始

資源ごみ 廃プラ だいたい色 (大)1枚/17円 (小)1枚12円

福祉



あじさい保育園



クリーンセンター

福祉常任委員会では、付託された議案について審査を行い、議案第38号・第39号・第40号・第42号については原案の通り全会一致で可決した。
議案第39号住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、本町の住民基本台帳法に基づき、住民基本台帳に記録されている外国人住民については、印鑑の登録を受けることが出来る等の詳細な説明を受けた。

また、議案第40号については、資源ごみ（廃プラ）の分別収集を開始しようとするものの詳細な説明を受けた。
ごみ袋1枚あたりの単価については、他のごみ袋より低料金に設定した等の説明を受けた。
住民への啓発を周知徹底するよう意見があった。
現地視察において、4月に開園したあじさい保育園では、木のぬくもりのある素晴らしい環境のなかで保育が実施されていた。

またクリーンセンターでは、現在のリサイクルの分別状況と今回新たに導入するプラスチックの仮置き場等について説明を受けた。
今後の処理能力及び施設の耐用年数についての質問がなされ、今後の検討課題となった。

《5月21日臨時議会での議案等への賛否の状況》

Table with columns for event names (e.g., 平成23年度一般会計補正予算) and council members (福永誠一, 竹上公也, etc.), showing approval status (賛成, 反対, etc.).

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

《6月議会での議案等への賛否の状況》

Table with columns for event names (e.g., 平成24年度一般会計補正予算) and council members, showing approval status for the June session.

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

Table listing members of the Special Committee for the Compilation of the Council Report (議員広報編集特別委員会).

私のもとにも、たくさんの方から国保税引き上げ、介護保険料の値上げ等に対する貴重なご意見が寄せられました。「日本一住み良い町づくり」とは何か、実現させるには何をなすべきか、町議会の果たす役割を私共は肝に命じて取り組む必要があります。引き続き町民の皆様方のご意見を議会にお寄せ下さい。(文責 甲斐 康之)

沖縄県のクリーンセンターを視察

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合

組合議会は、5月29日から31日までの3日間、沖縄県の焼却施設の行政視察を行った。沖縄ではすでに梅雨入りしていたが、さほど雨の影響を受けなかった。

初日は、糸満市の糸豊環境美化センターを視察した。平成10年4月から稼働し、施設規模としては、一日200tのごみ処理ができ、処理方式は全連続燃焼式ストローカ炉を採用していた。しかし、ごみの適正処理の困難性や最終処分場の確保等の問題を抱えていた。問題解決のため、平成21年度から3年間循環型社会形成推進交付事業を導入し、既存の処理施設から排出する焼却灰等を溶解するストローカ直結溶解炉に改造して

翌日は、うるま市の美島環境クリーンセンターを視察した。この施設の処理方式は、酸素熱式分解直接溶解炉方式を採用しており、ごみは効率よくガス化され、焼却残渣は無害で再資源化できる溶解スラグにされていた。廃熱は蒸気タービン発電装置で電力に変換し、センター内の電力に利用されていた。リサイクルプラザは資源を大切にされた資源循環型の施設であり、環境教育や啓発事業が実施できる管理工房も有していた。

議会の動き

- 4月 1 熊本市政令指定都市移行記念式典 議会広報編集特別委員会 9 議会広報編集特別委員会 17 議会広報編集特別委員会 24 議会広報編集特別委員会 5月 7 議会広報編集特別委員会 9 熊本県町村議会議長研修会 11 高遊原南消防組合議会定例会 14 九州中央自動車道建設促進協議会熊本県期成会理事会 18 熊本県副知事へ陳情 「阿蘇くまもと空港・テクノ周辺」ジョギングフェア 21 第1回臨時議会 28 九州中央道建設促進期成会総会 29 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会視察研修(31日まで) 全国町村議会議長会正副議長研修(30日まで) 6月 7 議会運営委員会 全員協議会 12 第2回益城町議会定例会(18日まで) 29 議会広報編集特別委員会

6月定例会 傍聴者数

1日目 12日(火)..... 6名 2日目 13日(水).....36名 最終日 14日(木)..... 8名 合計..... 50名 常任委員会 (14日・15日)



美島環境クリーンセンター



視察風景

今回の視察では溶解スラグや、発電設備による廃熱エネルギーなどの有効利用を再認識させられた。

汚泥、生ごみの資源化施設を視察

御船地区衛生施設組合

御船地区衛生施設組合では6月4日から3日間の日程で栃木県小山市の小山広域保健衛生組合、長野県小諸市にある浅麓環境施設組合の汚泥処理施設や資源化施設を視察した。

両施設ともすばらしい施設で、汚泥の処理から、汚泥、生ごみの資源化による、汚泥発酵肥料の製造(両施設)、処理の過程で発生する窒素ガスを利用した発電(浅麓環境施設組合)も行なわれていた。発酵肥料については、小山広域保健環境施設組合の販売価格は一袋(15kg入り)350円、浅麓環境施設組合では袋代だけの30円で出荷しているとの事であった。

ただ、小山広域保健衛生組合では放射性セシウムが国の定める流通可能な暫定基準値を超えており、市場に流通ができないため、一般廃棄物として焼却処分されていた。浅麓環境施設組合では、資源化には大変な経費が掛かり、国の方針もごみの資源化から、焼却処分へと方向を変



小山広域保健衛生組合施設内



浅麓環境施設組合

えて来るならば、これからの運営が厳しくなるのではと心配されていた。 中村 健二

編集 後記

暑中お見舞い 申し上げます。 今年の梅雨は、「これまで経験したことのないような豪雨」のため、県内でも多くの方々が被災され、尊い人命が失われました。 亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

今、消費税増税、原発再稼働、TPP参加、オスプレイ配備問題など、私たちの暮らしと安全にとって看過できない多彩な問題が降りかかっています。

私のもとにも、たくさんの方から国保税引き上げ、介護保険料の値上げ等に対する貴重なご意見が寄せられました。「日本一住み良い町づくり」とは何か、実現させるには何をなすべきか、町議会の果たす役割を私共は肝に命じて取り組む必要があります。引き続き町民の皆様方のご意見を議会にお寄せ下さい。(文責 甲斐 康之)

皆で健康を考えよう

健康は自分だけのものではない、家族や周りのみんなが楽しく暮らすための源である。



健康であることの大事さ大切さを本当に認識するのは、ほとんどの人が病气や怪我などに遭って初めて健康の有り難さを感じるものである。

今、進めている「健康づくり」は健診の勧めや健診の結果を見て指導していく方法をとっている。確かにこれも大事なことですが、これは健康に関心のある人以外の主体的取り組みは難しいのではないかと思っている。

新潟県湯沢町では、国が2003年5月に施行した健康増進法に基づき、健康は生きるための目標ではなく、生活していくために必要な資源のひとつとしてとらえ、湯沢町健康づくり計画（ファミリー健康プラン）を作成され町づくりを進めておられ

ます。この計画を見て「健康づくり」の原点をしっかりと見直さなければいけないことに気づかされた。

健診を受けて病を早期発見し、早期治療をしましょうと呼びかけてきたが、湯沢町では「健康づくり」はもっと大きく広く考え、健康は一人ひとりが明るく楽しい生活を送るための資源として捉え、住民個人だけでなく、家族・地域・行政や関連機関などすべてが、共通の目標に向かって取り組みることが大事であるとおられる。

「健康づくり」は医療費の削減が目的でなく、明るく楽しい、住みよい町づくりを進めるための大事なだいたいな資源ではないだろうか。

(中村)



飯野小学校

今回は、創立137年の歴史ある飯野小学校を紹介します。

放課後のグラウンドでは、野球部の子どもの元気な声と笑顔に迎えられ、更に進むと、「温故知新」と刻まれた石碑に迎えられ、その四文字に託された先人の思いにふれた気持ちになりました。

さて、取材をさせていだいたのは音楽クラブ。全校児童87名ということで、部活となるとバスケット、サッカー、野球とスポーツに限られてしまったため、2年前、吉田真紀先生が音楽クラブを立ち上げました。3年生以上のクラブ活動の時間を使い、月に1回の

練習です。

弾きたい曲や楽器を、シーズンに合わせて選び、曲に親しみます。

練習の成果は、音楽集会の時や学習発表会、12月1日の演奏会で披露します。

5月の爽やかな風が吹き通る音楽室では、5月29日の「ほたる鑑賞会」で演奏する琴の練習中でした。5年生の3名と卒業生1名、吉田先生と養田先生の6名で、「つゆし」「ほたる」の2曲を、輪唱し納得いくまで生懸命に奏でる姿は、さすが大和撫子♪♪

さて4回目となる「ほたる鑑賞会」は、これまで学校の体育館で行われて来ましたが、今年は岩戸川下

鶴橋横の広場で行われました。

夕暮れの自然の中で聞こえてくる琴の音色は、一段と風情があり心に響きました。

演奏後は、講話と児童による環境学習発表、そして訪れた皆さんと一緒に「ほたる」の大合唱♪。すでに辺りは真つ暗、岩戸川の水辺では癒しの光を放つホタルの舞を楽しむことができました。

ほたる鑑賞会後に新たな編成で10名となった音楽クラブ員、次の活躍のステージは秋の運動会での鼓笛の演奏、12月1日の演奏会です。皆さん、どうぞご期待下さいね。

(取材 坂田みはる)



美しい音色に聴き入る子どもたち



琴の魅力にふれる子どもたち